

水疱のドレッシング法(踵の褥創) —理論と考えかた—

水疱の褥創は、主に踵にみられます。水疱には透明な水疱と黒色の水疱があります。実はこの色による差は大変重要です。皮膚および皮下の構造を考えてみましょう。血流はどこまで来ているかという、皮膚の真皮層のところまでです。真皮層の上の表皮には血管は来ていません。透明な水疱はもちろん血液が無いから透明なわけで、つまり血流の無いところにできたものです。したがって透明な水疱は真皮と表皮の結合が離れた部分に浸出液が溜まってできたものです。このような傷は以前勉強した中間層損傷(部分創損傷)に属し、大変浅い組織損傷です。水疱面には真皮層が露出しており、したがって水疱内の創面では全面で表皮化が進行し、速やかに治癒に至ることが約束されています。

さて、黒色の水疱はどうでしょうか。黒い色は血液の色素によるものです。つまり黒色水疱内には出血がみられるわけですから、組織障害の深さは、少なくとも真皮層の障害は確実です。真皮層までの障害であるか、あるいは真皮層全層と皮下組織を含む損傷であるかは判断が付きません。したがって、黒色水疱を見たときは、最悪の場合ステージIVの損傷である可能性を考えておく必要があります。別の表現をすれば、黒色水疱は中間層損傷である可能性もあるが、全層損傷である場合も多いということです。

以前勉強した様に、中間層損傷と全層損傷では治癒の仕方が異なり、治癒までの時間も著しい差が見られます。中間層損傷では長くても3週間で治癒しますが、全層損傷では最短3ヶ月、場合によっては5ヶ月を要します。黒色水疱をみたばあい安易に考えてはいけません。

<水疱の局所療法>

**透明な水疱の治療法:** まずは水疱を破らないほうが得策です。それは残った皮膚が細菌をブロックし感染の機会を低下させてくれるからです。この時水疱をポリウレタンフィルム材でカバーするか、ハイドロコロイドドレッシング材でカバーします。

基本的にドレッシング交換は1週間後が良いと思います。しかし、透明と思った水疱が後に深くなって出血するということもあるのが褥創です。ハイドロコロイドドレッシング材などは薄いものを使って中が透けて見えるものを使ったほうが良いでしょう。

1週間後にドレッシング交換をする時に水疱が破れた場合は、普通の中間層損傷になり真皮層が露出した浅い創面になります。この場合ハイドロコロイドドレッシング材が第一選択です。ドレッシング交換は2~3日に1回の交換を行います。浸出液が減少するとともに表皮化が進行します。浸出液が無くなれば1週間貼付したままにします。それで終了です。

ドレッシング交換時に水疱が破れなければ、再び同様にドレッシング材を貼付します。水疱内の浸出液は次第に減少し、干からびた皮膚がペタリとくっついた状態になれば治癒

です。そのままお風呂にでも入れれば垢のように皮膚が剥がれ、下には新しいしっかりした皮膚ができています。

**黒色水疱の局所療法：**黒色水疱は皮下に及ぶ全層損傷があるとの前提に立ってドレッシングの交換は2日に1回ぐらいと短期間で交換していきます。しかし、もちろん中間層損傷の可能性もあるわけですから、第一選択はハイドロコロイドドレッシング材です。しかも厚いタイプのハイドロコロイドドレッシング材を選択します。交換をしていくと深いものでは、浸出液も多く表皮壊死を起こすため水疱はすぐに破れてきます。その結果全層損傷であるとわかります。感染の徴候が無ければ、このままハイドロコロイドドレッシング材を貼り続け、以前勉強した自己融解によるデブリードメントによって壊死組織を柔らかくし、適宜外科的にデブリードメントを行っていきます。

もし中間層損傷であった場合は、透明な水疱の場合と同様の方法で良いことになります。

**踵の除圧の問題：**踵に水疱ができた場合は、除圧不良あるいは踵のズレの存在があります。踵は仙骨と異なり完全除圧ができます。つまり、下腿部を挙上するクッションを用いることで踵部を完全に浮かせることができるからです。しかし、この下腿部の挙上においては体圧分散用具を用いることが大切で、普通の座布団などで下腿を持ち上げると下腿部に褥創ができてしまいます。下腿部を挙上する時はフローテーションパッドあるいはビーズパッドを用います。

症例写真：全層の黒色水疱の経過

黒色水疱にハイドロコロイドドレッシングを使用し、適宜壊死部を除去した。結局、骨膜に至る褥創であった。更にハイドロコロイドドレッシング材を継続し表皮化に至った。

全経過5ヶ月あまりで治癒した。



症例写真：中間層損傷であった黒色水疱の経過

黒色水疱に対し、ハイドロコロイドドレッシング材にて治療を開始した。約4週間後に干からびた皮膚を剥がしてみると下にはしっかりした新しい皮膚が形成されていた。

